

福島第一原子力発電所のプラント状況について(午後7時現在)

平成 23 年 3 月 11 日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

本日、当社・福島第一原子力発電所 1 号機（沸騰水型、定格出力 46 万キロワット）、2 号機および 3 号機（沸騰水型、定格出力 78 万 4 千キロワット）は定格出力一定運転中のところ、午後 2 時 46 分頃に宮城県沖地震により、タービンおよび原子炉が自動停止しました。

その後、1、2 および 3 号機の全ての交流電源が喪失したことから、午後 3 時 42 分に原子力災害対策特別措置法第 10 条第 1 項の規定に基づく特定事象が発生し、その後、1 号機および 2 号機の非常用炉心冷却装置について、注水流量の確認ができないので、念のため午後 4 時 36 分に、原子力災害対策特別措置法第 15 条第 1 項の規定に基づく特定事象が発生したと判断しました。

（お知らせ済み）

1 号機においては、非常用復水器で原子炉内の蒸気を冷やしており、2、3 号機については、原子炉隔離時冷却系で原子炉に注水しております。

4 号機、5 号機および 6 号機については、安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。

その後、福島第一原子力発電所内での火災は発生していないことを当社社員が確認しました。

モニタリングカーにより発電所敷地内（屋外）の放射性物質の測定を行い、通常値と変わらないことを確認しました。引き続き、測定を実施中です。

以 上